

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。なお、字数指定がある場合、句読点は一字として数えます。

最近、ある動画チャンネルを教えてもらった。a 田舎に住んでいる男性が山奥の土地と家を買ひ、b かつている猫や友人たちが過ぎやす
いように色々作り変えていく様子を。c キロクした動画が日々公開されている。私が見たのは猫のために家の中に長押ながしを利用してキャットウ
オークを設置する動画だった。襖ふすまや障子などの引き戸を滑らせるための溝がある①鴨居鴨居の上部に長押があり、柱と柱を繋ぐ補強材の役割を
持つ。その多くは壁との間に隙間すきまがあり、和室によくある A などをかけられる場所というと分かりやすいだろうか。板に B をはり
付け、L字型の金具を下にあて、板と壁・柱を電動 C を用いて固定していく。人間の頭の少し上のあたりを猫が歩くつくりだ。上に登る
ためのステップも柱に取り付けて最後は猫がその上で寝ていた。他には自分で作った池（ちよつとした露天風呂くらいの大きさはある）が大
雨により流れてきた d 土砂で埋まってしまい、仲間の助けを借りて元に戻していく動画や、D 窓がまを。屋外eに作り、焼き立てのものを食べ
る動画、庭の木に寄り添うようにツリーハウスとまではいかないが、のんびりできる程度のスペースとイスを作る動画などがあつた。猫や自
分が必要とする物を一つずつ工夫して形にしていく。自分たちで自分の手の届く範囲の物事を少しずつ整え、f 穏やかな生活を送る。その動
画を教えてくれた友人とこんな暮らしが人生の完成形だ、理想だと言ひ合いながら、私は働くことの意義とは何かを考えるようになった。

一、その動画を教えてもらうほんの数日前、「②三方よし」という言葉を知つた。「売り手によし、買い手によし、世間によし。」とい
う表現は、中世から近代にかけて全国を行商し、日本の経済発展を支えた近江商人の理念とされる。「商売において売り手と買い手が満足す
るのは当然のこと、社会に g コウケンでできてこそよい商売といえる」という考え方である。自らの利益のみを h ツイキユウすることをよしと
せず、社会の幸せを願うこの精神は、現代でも多くの企業の経営理念の「根幹」となっている。H、働くというのは、自分だけでなく他の
誰かのため、ひいては社会の役に立つことは何かと考え動くことだと言える。自分が住んでいる家で、村で、街で、社会で、一緒に暮らして
いる人々が過ぎやすくなるように自分には何ができるのか。掃除が得意であれば掃除を、料理が得意であれば料理を、大工仕事が得意であ
れば大工仕事をしていく。お互いがそれぞれ必要とされている得意なことをして、お互いの暮らしを良くした結果、今があるのだ。

三、現代は③「働く」ことが難しくなつてしまった。甲が大きくなり、行動や選択の幅が自由になりすぎてしまったからだ。小さ
な村では必要とされていることが分かりやすく、三方よしの仕事も見つけやすかつた。それに対して、大きく自由な社会では、④「ニーズが多
様で、様々な職種が生まれた。選択肢が多い社会では、小さな村よりも自分の好きなことができる。当然、私たちは好きなことを自分の仕事
にしたいと思う。だから、「あなたは何が好きなのか。何がしたいのか。」という自分の好みに進路選択の重きが置かれている傾向にある。多
くの人は、得意なことと好きなことは一緒であると考えがちだ。実際にテレビやネットで取り上げられる人は、そういう成功例が大半だと思
う。しかし、彼らの得意なことは最初は好きなことではなかつたかもしれない。苦手だったことを克服したり、偶然始めたことが好きにな
がつたかもしれない。何が言いたいかといえば、好きなことだけをしようとする、自分にとつて本当に得意なことを見失う可能性があるとい
うことだ。学校は、得意を探すことを意識させ、そのために好きではないことにも j チョウセンさせる場である。色々な可能性を探るため
に色々な科目があり、色々な人間が集まる教室という場が用意されている。食わず嫌ひは健康にも良くない。『どうして好きでもない勉強な
んでしないといけないんだらう』と思つてしまう学生も多いだろうが、こんな時代だからこそ少し立ち止まって、⑤「小さい村で働くとしたら
自分はどうしていくだろうと考えるのも良い。自分の得意を探す三年間が、高校生活なのだ。

(本校教員による文章)

問一 二重傍線部 a～j のカタカナは漢字に直し、漢字は読みをひらがなで答えなさい。

問二 傍線部①「鴨居」についての正しい記述を次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 鴨居の下部に長押があり、襖や障子を滑らせる役割をする。 イ 鴨居の溝を長押と呼び、襖や障子などの上部にある。
ウ 鴨居とは襖や障子を滑らせる溝がある部分のことである。 エ 鴨居とは長押を滑らせる溝を持った補強材である。

問三 空欄 A～D にそれぞれ入る語の組み合わせとして適切なものを次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

- ア Aハンガー Bピザ Cドリル Dフェルト イ Aフェルト Bハンガー Cピザ Dドリル
ウ Aドリル Bピザ Cフェルト Dハンガー エ Aハンガー Bフェルト Cドリル Dピザ

問四 空欄 一～三 に入る語として適切なものを次のア～オよりそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

問五 傍線部②「三方よし」に当てはまるものを次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 賞味期限が迫つた食品を値引き販売し、廃棄食品が減つた。
イ 趣味で作つたケーキが評判になり、テレビの取材が来た。
ウ 巣ごもり需要から配達が増え、ガソリンの消費量が増えた。
エ 電気代を節約するため、風邪気味だが暖房の使用を我慢した。

問六 傍線部③『働く』の「こ」とはどのようなことだと筆者は考えているか。本文中の言葉を用いて三十五字以内で答えなさい。

問七 空欄 甲 に入る語を漢字二字で本文中から抜き出しなさい。

問八 傍線部④「ニーズ」と同じ意味の表現を本文中より十字で抜き出しなさい。

問九 傍線部⑤「小さい村で働くとしたら」とあるが、筆者の主張として最も適切なものを次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 友人の助けを借りられるような人生に向けて行動する。
- イ 他の誰かのために苦手でも好きなことを頑張る。
- ウ 社会のために自分が何をしたいのかを尊重し行動する。
- エ 誰かのために自分に何ができるか考え得意なことをする。

問十 この文章に最も適当なタイトルを付けるとすればどれか。次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

- ア ネット動画から学ぶ人生設計
- イ そうだ、キャットウォークをつくらう
- ウ 社会の幸せを願う近江商人の言葉
- エ 働く本質、学校の役割

□ 次の文章は『徒然草』からの出典である。盛親じょうしんという僧のエピソードを紹介し、その徳を称えている。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

〔※1〕真乗院に盛親僧都とて、ア やんことなき智者ありけり。〔※2〕芋頭と「いふものを好みて、多く食ひけり。〔※3〕談義の座にても、大きな鉢にうづたかく盛りて、膝もとに置きつつ、食ひながら B 文をも読みけり。 C 患ふ事あるには、七日、〔※4〕ふたなぬか二七日など、療治とて籠こもり居て、□ 思ふやうによき芋頭をえらびて、ことに多く食ひて、よろづのやまひをいやしけり。人に食はする事なし。ただひとりのみ①ぞ食ひける。きはめて貧しかりけるに、師匠、死にさまに、錢二百〔※5〕貫と〔※6〕坊ひとつをゆづりたりけるを、坊を百貫に売りにて、かれこれ三万疋を芋頭の錢あしと定めて、京なる人に預け置きて、十貫づつ取り寄せて、芋頭を乏とちしからず召しけるほどに、また、他用に□ 用ゐることなくて、②その錢皆に成りにけり。「三百貫の物を貧しき身にまうけて、かく計らひける、まことに有り難き道心者なり」とぞ、人申しける。

注〔※1〕真乗院に盛親僧都とて … 真乗院は仁和寺にあった支院。僧都は僧正に次ぐ僧官

〔※2〕芋頭 … サトイモの親芋。一般的には親芋から生じる子芋を食べることが多い。

〔※3〕談義の座 … 説法を集え 〔※4〕二七日 … 十四日間

〔※5〕貫 … 「貫」は通貨単位。一貫＝一〇〇疋＝一〇〇〇文。 〔※6〕坊 … 僧の住む場所。僧坊、寺

問一 二重傍線部「～□」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで答えなさい。

問二 傍線部A～Cの語の本文中での意味として適切なものを次のア～エよりそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- A やんことなき ア すぐれた イ やむを得ない ウ 平凡な エ 健康な
- B 文 ア 手紙 イ 和歌 ウ 書物 エ 人相
- C 患ふ事 ア 病気になること イ 困ったこと ウ 隠しごと エ 願いごと

問三 傍線部①「ぞ」の品詞は何か次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 名詞 イ 副詞 ウ 助詞 エ 連体詞

問四 傍線部②「その錢皆に成りにけり」の解釈として適切なものを次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

- ア そのお金をすべて貧しい人にあげてしまった。 イ そのお金をすべて芋に使ってしまった。
- ウ そのお金をすべてだまし取られてしまった。 エ そのお金をすべて寺の復興に使ってしまった。

問五 本文を解説した次の文章の空欄 a ～ c に入る語を指定された字数で、それぞれ本文中から抜き出しなさい。

盛親僧都は a 二字 をこよなく愛していた。これは一般的に多くは流通していないものであったが、決して高価なものではなかった。非常に貧しかった盛親は、師匠が亡くなる際に、大金と b 四字 を譲り受けたが、以前の生活を大きく変えず、贅沢や権威に執着することなく過ごした。食に関して過度なこだわりがあるが、世俗的な欲が無く、清廉潔白な彼の姿が人々の目には c 七字 であると映った。

問六 出典である『徒然草』の作者を次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 清少納言 イ 兼好法師 ウ 鴨長明 エ 松尾芭蕉

□ 次のことわざ・慣用句・故事成語の問いに答えなさい。

問一 次の①～⑤の空欄に漢字一字を補い、ことわざ・慣用句・故事成語を完成させなさい。ただし空欄には生き物に関する語が入ります。

- ① 水 〇 の交わり（非常に親密なこと）
- ② 〇 の歩み（進むのが遅いこと）
- ③ 〇 に睨まれた蛙（動けなくなる様子）
- ④ 負け 〇 の遠吠え（勝ち目のない相手を陰でののしること）
- ⑤ 立つ 〇 跡を濁さず（引き際は美しくあるべきということ）

問二 次の①～⑤の意味を持つ語句を、次のア～コよりそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 発覚 ② 心配 ③ 虚偽 ④ 平凡 ⑤ 簡単
- ア 阿吽の呼吸 イ 絵空事 ウ 論より証拠 エ どんぐりの背比べ オ 赤子の手をひねる
- カ 固唾をのむ キ 高嶺の花 ク 無用の長物 ケ 馬脚をあらわす コ 塵も積もれば山となる

